

方式②自己表現 評価の観点及び評価規準例

※以下の中から、各高校がスクール・ポリシーに応じて選んだ3～4つ程度の観点により評価します。

	評価の観点	評価規準例(何を評価するか)
①	知識・技能等	高校入試においては、 <u>知識の理解、スキルの活用、思考力・判断力など</u> が評価の対象となります。
①	課題発見力	課題発見力とは、与えられた情報や状況から、問題は何か、どこに改善の余地があるかを自分で見つけ出し、課題を立てる力です。 高校入試においては、 <u>資料やデータを見て問題を吟味し、なぜそうなっているのかという問いを自分で設定して、どういう課題を解決したいのかということについて明確に示す</u> ことができるかなどが評価の対象となります。
②	論理的思考力	論理的思考力とは、根拠に基づいて説明・判断・主張するなどの物事を筋道を立てて考える力です。 高校入試においては、 <u>主張と根拠の一貫性、因果関係の明確さ、情報の整理・分析力</u> などが評価の対象となります。
③	創造性	創造性とは、これまでの知識や経験をもとにして、新しい考えや方法を生み出す力です。 高校入試においては、 <u>他人とは違う自分ならではの考え方を示す力、複数の視点から考えて発想を広げる力</u> などが評価の対象となります。
④	表現力	表現力とは、自分の考えや意見をわかりやすく伝える力です。 高校入試においては、 <u>自分の考えを整理し、根拠をもって相手に伝わるように工夫して、場面に応じた適切な伝え方ができている</u> かなどが評価の対象となります。
⑤	対話力	対話力とは、相手の意見を理解し、適切に応答できる力です。 高校入試においては、 <u>相手の意見を正しく理解し、必要に応じて要約や確認ができたり、相手の発言に関連した質問やコメントを返し、議論を深めたりするなど双方向のやり取りができているか</u> が評価の対象となります。
⑥	リーダーシップ	リーダーシップとは、集団やチームの目標達成に向けて、多様な他者を巻き込みながら方向性を示し、協力を促し、責任を持って行動する力です。 高校入試においては、 <u>集団の中での自分の役割を自覚し、多様な他者との協働・共感や対立の乗り越え等を通じてより良い方向に働きかける力</u> などが評価の対象となります。
⑦	自己調整力	自己調整力とは、目標達成に向けて、自分の行動や思考を計画・実行・振り返り・修正する力です。 高校入試においては、 <u>学習や活動において、自らの状況を把握し、適切な方法で改善しようとする姿勢や能力</u> が評価の対象となります。
⑧	主体性	主体性とは、自らの意志と判断で物事に進んで取り組み、やり抜く力です。 高校入試においては、 <u>自分の意志で学習や活動に取り組む姿勢が見られ、自分で方法を考えたり、提案したりする力がある</u> かなどが評価の対象となります。
⑨	チャレンジ精神	チャレンジ精神とは、困難や未知の課題に対して、失敗を恐れずに試行錯誤しながら前向きに取り組もうとする姿勢や行動力です。 高校入試においては、 <u>挑戦への意欲、粘り強さ、新しいことへの好奇心、失敗からの学び、直面した困難への対処方法を見出す力</u> などが評価の対象となります。